

## 事業名

命の大切さを学ぶ教室（法務省人権啓発活動地方委託事業）

## 趣旨・目的

- ・卒業を控え、自動車免許証を取得する時期に差しかかる3年生を対象として、交通死亡事故被害者遺族の心の痛みや被害者支援の必要性を学び、改めて交通安全に対する意識の高揚を図る機会とする。
- ・被害者遺族からの講話を通じて、自分や他人の命の大切さや、仲間や周囲の人たちを思いやる気持ちや気遣いを学ぶ。

## 取組の様子



講話の様子



講話を真剣に聴く様子

## 取組内容

- ◎「北海道交通事故被害者の会」の高石氏に、毎年、本事業の講師を引き受けていただいている。本校に在籍していた高石氏の息子さん飲酒運転の車両にひき逃げされ、亡くなった悲しい出来事について、当時を振り返り講話をいただいた。
- ◎実施後の生徒の感想
  - ・胸が苦しくなった。大切な子供を、親友を亡くすということがどれだけ辛くて苦しいかを感じた。
  - ・高石さんが最後に言った自分の命は自分だけの命じゃないという言葉に本当にその通りだと思った。これからずっと忘れないようにしようと思った。

## 学校の概要など

- ・全日制普通科 生徒数 270名（令和5年5月1日現在）
- ・北海道教育委員会の多様なタイプの高校づくりの取組の一つとして、令和4年度からは、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度の育成に重点を置くアンビシャススクールとして生徒募集を行っている。

学校URL：<http://www.nopporo.hokkaido-c.ed.jp>